

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.16
令和4年11月9日
文責：校長 松野克己

4年生UD出前講座



4年生は総合的な学習の時間に様々な福祉体験を行っています。今回は「UD出前講座」。“UD”はユニバーサルデザインの略で、簡単に言うと「全ての人に優しいデザイン」ということで、シャンプー容器の横の凸凹がその1例です。

10月28日(金)に体育館で実施しました。最初に県民協働課の廣田さんに、UDの説明や人に優しい街作りについてのお話を聞きました。その後に唐津市役所の松本さんに障がいをもった当事者として、どんなことに戸惑うかといったお話を聞きました。左の写真がその様子です。松本さんは交通事故で下半身が完全に麻痺して車椅子生活になったそうです。スロープがないと不自由といった想像はできたのですが、例えばトイレにスリッパが並べてあると、車椅子では入りづらいといった私た

ちがあまり思い浮かばないような苦勞も話していただきました。

そういったお話を踏まえた上で車椅子体験をしました。車椅子の大変さよりも、考えて欲しいのは周囲にいる人のサポートの大切さです。児童は落ちているものを拾ってあげたり、高い場所にあるジュースを取ってあげたりして、しっかりとサポートできていました。今回もいい体験をさせてもらいました。

ちなみにこの松本さんは「車椅子ソフトボール」の選手として日本代表の一員として世界大会に出場した経歴の持ち主でした。終わった後は「レフト前に打っても必死に車椅子をこがないと、ファーストでアウトになる」とか、「アメリカではメジャーリーグの傘下に車椅子ソフトボールのチームがあり、ユニフォームもメジャーと同じもの」といった興味深いお話も聞かせていただきました。



薬物乱用防止教室



11月1日(火)、高学年児童を対象に薬物乱用防止教室を行いました。今年も校医の藤原先生に来ていただき、薬物の種類や恐ろしさ、巧妙な勧誘の手口、さらにそれを断る強い気持ちなどについて資料を元に話していただきました。覚醒剤や麻薬というと、子供にとっては縁遠いもののように感じますが、インターネットによって子供でも手に入れることが可能です。言うまでもなく、これらは心身に大きな影響を及ぼしますし、強い依存性があります。最近もある女優さんの次男が5回目の検挙をされたと報道されていました。手に入れる金銭目的、あるいは精神への影響から犯罪につながることも多いそうです。今のうちから薬物に対する正しい知識と、絶対に関わらない勇気を育てることはとても大切だと思います。

唐津市青少年意見発表大会 11月12日(土)の13:25から「りふれ」で行われます。全部で16校が参加しますが、佐志小からも6年の熊本めいささんが出場します。

ほっとタイムの感想をいただきました

ことで、テレビやゲームをせず、家族で過ごす時間を作るという内容でしたが、それが難しいご家庭もあるので、それぞれの家庭でできる家族の時間を設けてみてくださいという、より柔軟なやり方にしました。いくつか、取り組んだ感想をいただきましたので、少し紹介します。

ママと弟でいろんな形のクッキーを作りました。楽しかったです。(材料を合わせるころから一緒にやりました。上手に生地を伸ばしたり、形を作ったり、自分が作ったのを探して食べたりしていました。おいしかったです。)



プリントでご案内していた「家族でホッとタイム」、ご家庭で取り組まれたでしょうか。昨年度までは「ノーテレビノーゲームデー」という

普段の生活の中で話をする機会があっても、ゆっくりと一緒に遊ぶ機会がなかなか取れないのでとてもいい機会になりました。子ども達も楽しそうにしており、次々と遊びたいことを言うてくれたので、意識してでも一緒に向かい合ってゆっくり遊ぶ機会を作っていきたいし、そんな時間を大切にしたいなと思いました。

食事中にテレビを見ないことで子供が「ながら食べ」をしなくなり、家族での会話が増えました。

1年生やじろべえ作り

11月8日(火)に大土井にお住まいの吉田さんに来ていただき、1年生がどんぐりを使ってやじろべえを作りました。講師の吉田さんは1の1担任の藤田先生の知り合いという



ことで、お願いして佐志

小まで足を運んでいただいたわけです。昔話になりますが、私が子供の頃、どんぐりの一つである「マテの実」はちょっとした遊び道具であり、よくコマを作って遊んでいたことを覚えています。苦みがあってあまり好きではありませんでしたが、時々はやじろべえで食べたりもしました。もちろん、今の子ども達はそんな経験はないでしょうし、やじろべえ自体も知らないようでした。

1年生の子ども達、教えられるままに、土台に棒を固定したり、竹ひごにどんぐりを刺したりして興味津々で作っていました。そして、やじろべえができたときは大喜びしていました。もちろん、一から子ども達が作っていったわけではなく、土台や穴開け、竹ひごやどんぐりの準備は全員分を吉田さんにしていただいていたのでした。本当にありがたいことです。今回、自然のものを使っておもちゃを作るといった貴重な体験を1年生はすることができました。



お知らせ

本校の保護者さんで、海洋教育でお世話になっている吉田善史さんがテレビに出演されます。番組名は「カンブリヤ宮殿」で「グローバルの終焉 ローカルの覚醒」という拡大版です。牡蠣の養殖漁師をされている吉田さんが、アプリを使って消費者とつながり地方の活性化を図っているという内容だそうです。(間違っていたらすみません) テレビ東京系のテレQで夜11:06から12:24の時間帯の一部で放映されます。夜遅いので録画してご覧になってはどうでしょうか。